

1. 活動の概要

6月10日(火)、松江市立大庭小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

最初は、小学校のまわりにある遺跡について、地図やスライドを見ながら学習しました。この後、3クラスはローテーションをくんで、3種類の学習を行いました。

(1) 遺物見学

大庭校区は遺跡の宝庫で、通学路沿いにある県内屈指の「東淵寺古墳」はじめ、たくさんの古墳が集中しています。教室では東淵寺古墳の埴輪などの遺物を見学しました。学校で紹介する数日前まで「八雲立つ風土記の丘」で展示されていた埴輪です。児童たちは2～3週間前に展示室でみた遺物がすぐ目の前に並んでいるのを観察し、「ガラス越しでない生の遺物を見た」と興奮気味でした。

(2) 火起こし

校区にある神魂神社は、江戸時代に「出雲国造」の代替わりや、収穫祭に使われる大切な火を起こす儀礼を行っていたことで有名です。神魂神社の火起こしについての学習を受けて、「マイギリ」を使っての火起こし体験を2人1組で行いました。暑い日でした。ほとんどの子が「こげくさいにおいがする」ところまで到達しますが、「火だねをつくる」「火を大きくする」ところまでなかなか到達しません。クラスによっては5チームが成功してすごいと盛り上がったりしていました。「こげくさい」止まりとなった大多数の児童の感想文では、「うでがいたくなった」「(つかなくて)くやしい」等、大変さを痛感した感想が続出しました。

(3) まが玉づくり

玉関係の遺物の見学では、水晶が印象に残った子が多いようでした。体験に使った石材は薄いピンク色で、尤も軟らかい石材の一つ「滑石」です。6年生の体力なので削っていくこと自体は難しくなくても、内側のカーブ部分など細かいところは、狙った形に近づけていくのが大変だったようでした。

2. 活動の様子

1) 大庭小学校周辺の遺跡について知る



さまざまな種類の玉について学習



左に並んでいるモノも気になるけど…

2) 遺物見学と体験(まが玉作り、火起こし)



もう紙やすりを使っている？



暑いぞ！こげくさいぞ！疲れるぞ！

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・王や豪族のおはかものはものすごく大きいと言われ、「やっぱりそうなんだ」と思いました。
- ・遺物については、前はガラスごしでみていたものを生で見ることができてよかったです。
- ・私はすいしょうが一番きれいだなと思えました。
- ・大きな石がすごいなと思えました。
- ・火起こしを体験して、うでがいたくなるほど大変なのがわかりました。
- ・けむりは出たのですが、火だねはいくらたっても出ず、体力だけが無くなっていったので、次もやってみたいです。

2)担任の先生から…

- ・火起こしの時間配分が当初予定では15～20分だったが時間が足りなかったことと、子ども達がもっとやりたい！と言っていたため、45分程度の予定を考えておくとよかったです。
- ・実践的な体験を通して、古墳時代の生活について考えるきっかけになったところがとても良かったです。子ども達がとても楽しそうに活動していました。
- ・まが玉づくりを通して形になるものができ、思い出とともに学習が記憶に残るものとなった。

3)埋文センターから

子ども塾以前に、「八雲立つ風土記の丘」を見学したり、茶臼山から出雲国府を眺めたり、と歴史を体感する学習に取り組まれていたことへのリスペクトを感じながら、スタッフ一同はりきって授業に臨むことができました。東淵寺古墳の埴輪は、そのときの学習で一回ガラスケース越しに見ていたものですが、ガラスなしで目の前にあると全く違う感じ方をすることが、みなさんの感想から伝わってきました。砥石にさわって「古代のツルツル」の感触を味わった人もいましたね。あのとき感じたことを、忘れないでいてくれるといいなと思います。

大庭小学校の近くには、東淵寺古墳はじめ特色ある古墳時代、古代の遺跡がいくつもあります。みなさんが通学の途中に何気なく眺めている遠くの丘にも、古墳がびっしり残っているかもしれません(どの丘のことかは、配った地図でわかりますよね)。その遺跡の一つ一つが、現代に生きるみなさんまでつながっていることも忘れないで欲しいです。

神魂神社の火起こしは、毎回大変な思いをして火起こしをしているようです。当日の火起こしも大変ですが、そこまでの準備も大変なのです。今、出雲大社や熊野大社で行われているお祭りのルーツでもあります。出雲で一番古い「大社造り」の本殿だということでも有名です。一度、お参りしてみてください。大庭の歴史の「大きさ」と「重さ」を感じられると思いますよ。